

株主の皆さまへ

第159期 報告書
2006年1月1日から2006年12月31日まで





目次

2	ごあいさつ	3	社長メッセージ	5	特集【エネリアの活動】	7	トピックス
9	商品・サービスのご紹介	11	当期の業績	13	連結財務諸表	16	単体財務諸表
17	株式の状況	18	会社概要				

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当期（159期）のガス販売量は、家庭用の堅調な伸びに加え、都市ガスへの燃料転換による産業用需要の新規開拓や周辺都市ガス事業者への卸供給が好調に推移し、前期に比べ22.5%増加の7億61百万m³となりました。連結当期純利益は、原料費上昇により売上原価が増加したものの、売上高の増加や減価償却費の減少などにより、前期に比べ36.7%増加の43億円となりました。

当期末の配当につきましては、株主の皆さまの日頃のご支援にお応えするため、1株につき50銭増の4円とさせていただきます。中間配当も含めた当期の年間配当は、1株につき7.5円となります。

当期は、富士市と御殿場市を結ぶ高圧ガスパイプライン「南富士幹線」が12月に完成しました。これにより、当社と帝国石油（株）とのパイプライン連携が始まり、天然ガスの供給安定性が大きく向上しました。さらに静岡から甲信越、関東へと広がる広域パイプラインネットワークが形成されることとなりました。当社では、第3号LNGタンク増設工事を2006年4月に開始しましたが、タンクが完成する2009年までの間は、帝国石油（株）から国産天然ガスを受け入れ、その後は当社からガスを供給する計画となっています。

一方、オール電化の攻勢などにより、家庭用分野はこれまでになく厳しい競合環境におかれています。このため、当社



代表取締役社長 岩崎清悟

では、一軒一軒のお客さまにガスの安全性とガスのある豊かな暮らしをお伝えするため、2007年1月より、12のエリアを中心とする「エリア営業体制」をスタートさせました。同時に、現場力の強化と保安体制の高度化、業務の効率化を目指して、全社的な組織改編を行うとともに、業務執行に係る意思決定の迅速化を図るため、執行役員制を導入しました。

当社は、基幹エネルギー・天然ガスの供給者として皆さまの信頼にお応えすることはもとより、常に時代のニーズに応えられる会社であり続けるため、新たな取り組みを続けてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

業績ハイライト（連結）

	2006年12月期	2005年12月期	増減率
売上高	778億円	671億円	+15.9%
営業利益	78億円	66億円	+19.1%
経常利益	74億円	58億円	+26.2%
当期純利益	43億円	31億円	+36.7%

～本物の良さをお伝えするために～ 新たな家庭用営業戦略「エリア営業体制」がスタート

2007年1月から、当社は従来のガスショップやサービスショップを「静岡ガス エネリア」と改め、新営業戦略「エリア営業体制」をスタートしました。今回の刷新の経緯や、エネリアの大きな特長である「ふれあい巡回」についてお話をさせていただきます。



エネリアのロゴはエネリアの頭文字「e」とガスの青い炎をモチーフにしています。

Q なぜ営業体制を新しくしたのですか？

A 近年、ガスを使わないオール電化住宅が増えていきました。その理由を考えたとき、私たちがお客さまにガスの本当の良さを伝えきれていなかったことに気づきました。ガスのある豊かで快適な暮らしをお客さまに正しくお伝えし、実感していただくこと、それがお客さまのためであり、私たちガス会社の当然の使命であると。私たちは何ができるのか考えました。その答えが、本年より開始した「エリア営業体制」です。

Q エリア営業体制とはどのような体制ですか？

A 静岡ガスの供給区域を12のエリアに区分し、エリアごとにお客さま窓口となるサービス店「静岡ガス エネリア」を配置します。エネリアでは、エリア内のお客さまを一軒ごとに訪問する「ふれあい巡回」を行います。そして、お客さまの声に直接耳を傾けながら、安心してガスをご使用いただくための点検や、ガスを利用した豊かで快適な暮らしの提案などを行います。エリア営業体制では、お客さまに静岡ガスをより身近に感じていただき、ご家庭のエネルギーのことならなんでも相談できる“近くて頼れる”存在になることを目指します。

Q エネリアについてもう少し詳しく教えてください。

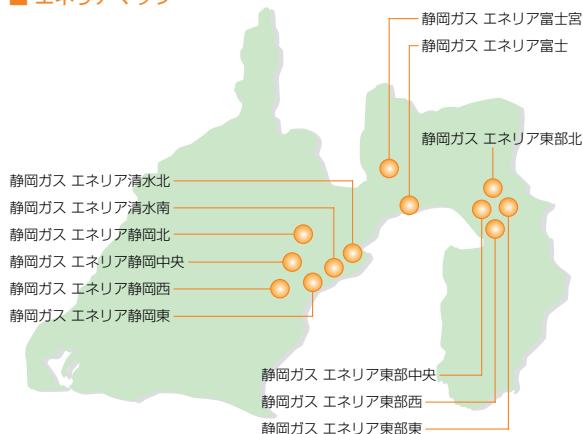
A 従来のサービス店（ガスショップ、サービスショップ）の名称を、新たに「静岡ガス エネリア」に統一しました。エネリアとはエネルギーとエリアからの造語です。エネリア各店には、お客さま一軒ごとに担当者をおき、あらゆるご相談、ご要望にお応えしていきます。エネリアは、まさにエリア営業体制の核となる存在です。静岡ガスとエネリアが一体となり、ガスの良さをお客さまにお伝えしていきます。

Q ふれあい巡回だけでガスの良さが伝わるでしょうか？

A エリア営業体制では、各支社単位にガス機器の素晴らしさを体感していただけるショールームを設け、お客さまをお連れします。

まずは、静岡ショールームを従来の展示型から体感型へと大幅にリニューアルし、「エネリア静岡ショールーム」として、昨年の11月にオープンしました。そこでは、専門のショールームアドバイザーがお客さまに丁寧にご説明し、じっくりと時間をかけてピピッとコンロ*や床暖房、ミストサウナなどの最新のガス機器を体感していただけます。最新のガス機器に直接触れていただければ、安全性はもちろん、ガスならではの豊かで快適な生活シーンをイメージしていただけることと思います。言葉や映像などのイメージだけでなく、実際に体感していただくことがいかに大事か、ショールームにお越しいただいたお客さまの多くがガ

■ エネリアマップ



スをご選択いただいていることから分かります。

この体感型のショールームは、静岡県東部地区、富士地区でも引き続き開設していく予定です。ショールームについてはP7トピックスでもご紹介しています。

Q 「やっぱりガスね」と言われるための新たな一歩を踏み出したのですね。

A ご家庭のエネルギーを何にするのか、お選びになるのはお客さまご自身です。このため、私たちが今できることは、一軒一軒、一人ひとりのお客さまにガスのことを正しくお伝えすることだと考えます。時間はかかるかもしれませんが、エリア営業体制の推進によって、多くのお客さまにガスの持つ“本物”の良さをご理解いただけると確信しています。

* ピピッとコンロは東京ガス(株)の登録商標です。

「もっとお客さまのために もっとお客さまの近くに」を目指して ～「ふれあい巡回」でお客さまとの接点を深めるエネリア～

今回の特集では「エネリア静岡東」の営業担当者・北川さんの取材を通して、「ふれあい巡回」をはじめとしたエネリアの活動をご紹介します。



静岡ガス エネリア静岡東 北川友丈

平成4年4月静岡ガス(株)入社、熱量変更センターに配属され、天然ガス導入事業に従事。
平成19年1月静岡支社に配属。同時に静岡ガス エネリア静岡東に転出。

北川さんとあるお客さま とのかかわり

ふれあい巡回

※地域の皆さまにあいさつ回りもかねて

〇〇さま訪問（ふれあい巡回2回目）

※リフォームの相談をされる

社内ミーティング

ショールームご案内

〇〇さま訪問（ふれあい巡回3回目）

※ご提案書提出（予定）

2007年1月5日 エネリア始動

今日は静岡ガスのパートナー「エネリア静岡東」が始動する日。大きく変わるのは、「ふれあい巡回」というお客さま訪問制度が導入されたことです。今まではお客さまからのご依頼を受けて訪問するという体制でしたが、今後はお客さまと静岡ガスをつなぐパイプ役として、積極的にお一人お一人とお話しさせていただきます。さらに、「いつものあなたね」と安心してお話しいただけるよう毎回何うのは専任の担当者となります。

2007年1月〇日 ふれあい巡回

連日20軒以上ものお客さまに接してきて、ご自宅訪問にも慣れてきました。その中で、お客さまが日々お使いのガスについてあまりご存じでないことに気づきました。これは、ふれあい巡回を通して自分が実感したことであります。担当者はお客さまからの疑問にはどんな内容でも一つ一つ丁寧にお答えします。また、今後はガス機器の無料診断、ガス機器の正しい使い方の説明なども分かりやすく行っていきます。

2007年2月■日 14:00 ○○さま訪問（2回目）

本日2度目に訪問したお客さまはリフォームを検討中とのこと。パンフレットをお見せしてリビングの床暖房や浴室のミストサウナなどいろいろな商品とその特長を説明しました。特に興味を持たれたのはキッチン周りで、ピピッとコンロの実物を後日ショールームで見て決めたいという話になり、ご都合のいい日を連絡していただくことになりました。



2007年2月▲日 10:00 社内ミーティング

お客さまからのお電話でショールーム訪問の日が決まりました。スケジュールも都合が合ったので、同行させていただくことに。この方の悩みはコンロスペースが狭いこと。こういったコンロがいいのかなど、各ご家庭に合わせた提案を行うために事前にチームリーダーやメンバーとも打ち合わせをします。新体制になって、社内でもミーティングや意見交換の場が増えました。チーム内はもとより、社内全体でもっと良い方法はないか、またお客さまに喜ばれた接客体験など、よい知恵をみんなで共有するという方向に社内の意識もこの体制になって変化してきたように感じます。



2007年2月○日 13:00 ショールームご案内

お客さまご夫妻をショールームへご案内。ショールームでは、ショールームアドバイザーに機器の説明は任せます。その際、お客さまのお悩みなどは一通りアドバイザーに事前に伝えます。これまでと違い、お客さまのサポートは担当者だけでなく、チームやスタッフが丸となって進めていきます。奥さまは省スペースで高機能なピピッとコンロに興味津々。後ろで聞いている私もアドバイザーのハキハキと的確な説明に、感心しきりです。自分の接客にも応用できないだろうか…。ご主人さまも実際に触れ、便利さを実感して満足されたようで、後日また改めて訪問することになりました。



今はまだ勉強不足なところもありますが、将来はガスに限らず、お客さまの疑問はなんでも伺いたいと思います。素朴な質問にも丁寧にお答えしていき、お客さまの生活が豊かになるお手伝いをするために、社員一同がんばっていきます！

～ガスの良さを体感～ 「エネリア静岡ショールーム」がオープン

静岡ショールームが大幅にリニューアルされ、2006年11月22日、「エネリア静岡ショールーム」として生まれ変わりました。

これまでも、ショールームで最新のガス機器を実際にご覧いただくことで、お客さまの多くがガスを選択されてきました。エネリア静岡ショールームでは、より強く確実にガスの良さをお伝えすることができるよう、展示型ではなく、五感に訴える体感型のショールームとしました。

心地よい空間の中で思う存分ガス機器に触れて、聞きたいことを納得いくまでご相談いただき、ガスの良さを実感としてお持ち帰りいただく、それがエネリア静岡ショールームの役割です。



ショールームの概要

ガス快適生活エリア

エコウィルや床暖房、最新システムキッチンの特長を体感。



クッキング体験コーナー

調理体験などを通してピピッとコンロの使い勝手やおいしさを体感。

ミスト体験ルーム

くつろぎの空間でミストサウナの癒し・美容効果を体感。
(予約制)



その他、リフォームコーナー、商品展示エリア、相談・提案・商談エリア、クッキングスタジオ（料理教室）などを設け、ガスが可能にする豊かで快適な暮らしを体感いただける施設となっています。

ご予約・お問い合わせ

エネリア静岡ショールーム

〒422-8766 静岡市駿河区八幡1-6-1

TEL054-285-2111 FAX054-285-2180

営業時間 9:30～18:00

休館日 水曜定休（祝祭日を除く） 年末年始・夏期

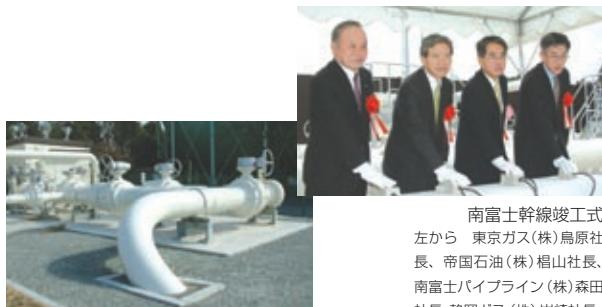
～天然ガス広域ネットワークが形成～ 「南富士幹線」が完成

2006年12月、帝国石油(株)、東京ガス(株)、静岡ガス(株)の3社の均等出資による事業会社「南富士パイプライン(株)」により建設を進めてきた、静岡県富士市と御殿場市を結ぶ高圧輸送パイプライン「南富士幹線」が完成。帝国石油(株)が持つ新潟県の国内ガス田と、清水LNG袖師基地がパイプラインで連結され、天然ガスの広域ネットワークが形成されました。

これにより静岡ガス(株)は、第3号LNGタンクが完成する2009年末までの間、帝国石油(株)のパイプラインネットワークから国産天然ガスを受け入れることができるようになり、LNG基地の緊急時対応や運営の柔軟性が図れるなど、供給安定性が大幅に向上しました。また、2010年からは帝国石油(株)に、将来的には東京ガス(株)に、清水LNG袖師基地からガスを供給する計画です。

南富士幹線は、基幹エネルギー・天然ガスの安定供給に重要な役割を果たすものとして、今後の運営に注目が集まっています。

■ 南富士幹線位置図



南富士幹線竣工式

左から 東京ガス(株)鳥原社長、帝国石油(株)榎山社長、南富士パイプライン(株)森田社長、静岡ガス(株)岩崎社長。

富士バルブステーション

南富士幹線の概要

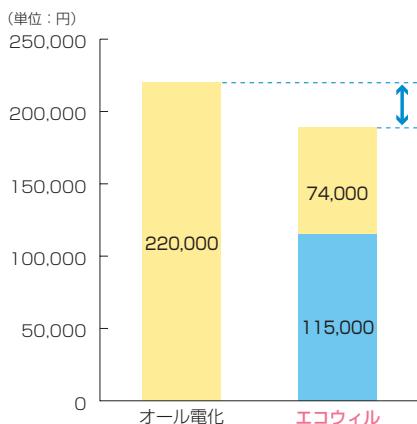
区間	静岡県富士市～御殿場市
仕様	設計圧力約 7MPa 管径 20インチ (500mm)
延長	約 31km
事業費	約 80億円

～エコウィルをもっと身近に～ 「ウィズガス住宅・発電プラン」登場



マイホームで発電する「ウィズガス住宅」が増えています。環境のこと、暮らしのこと、家計のことを考えるとやっぱりエコウィル。エコウィルをもっと身近にお使いいただくため、今までの料金体系を見直し、たいへんお得な「ウィズガス住宅・発電プラン」が登場しました。「ウィズガス住宅・発電プラン」は、床暖房やミストサウナ、省エネコンロをお使いいただくとさらにお得に。家族の健康と団らん、快適性をしっかりサポートします。

1年間のランニングコスト比較 ■電気 ■ガス



光熱費がオール電化住宅より
年間約3万円安い！

※戸建住宅4人家族での想定

● オール電化

使用機器：エコキュート、電気式床暖房（居間）、電気式浴室暖房乾燥機、IHクッキングヒーター
購入電力量 11,629kWh 中部電力Eライフプラン適用

● エコウィル

使用機器：エコウィル、ガス温水床暖房（居間）、ガス温水浴室暖房乾燥機、ガスコンロ、冷房として電気を使用
年間ガス使用量 1,197m³、ダブル割引適用、購入電力量 3,134kWh 中部電力従量電灯B適用
ガス料金、電気料金はそれぞれ平成18年10月現在の単位を使用。計算は条件によって異なります。

お得な割引プラン

下記のガス機器のご使用でさらにお得です！

省エネ
コンロ

床暖房

ミスト
サウナ

お得な割引制度

シングル割引	どれか1つ使用	5% OFF
ダブル割引	どれか2つ使用	10% OFF
オール割引	3つ使用	15% OFF

エコウィルとは



エコウィルは、クリーンな天然ガスで発電し、その時出る熱でお湯も沸かせて暖房もできるガスコージェネレーションシステムです。発電時の排熱を有効活用するのでCO₂排出量を削減し、環境にやさしい暮らしを実現します。

■ エコウィルの仕組み



■ エコウィルのご使用イメージ



～エコウィル付き分譲住宅も登場～

環境意識の高まりから、エコウィルの需要もますます伸びています。昨年、静岡市でエコウィル付きの分譲住宅が登場し注目を集めました。そして本年は、より環境性を重視したエコウィルと太陽光のダブル発電物件も販売されています。全国的にも多くのエコウィル付き分譲住宅が販売されるなど、確実にエコウィルの販売台数は増えつづけています。当社は、エコウィルの環境性と省エネ性、快適性、そして「ウィズガス住宅・発電プラン」による経済性をもっともっと広めていきます。



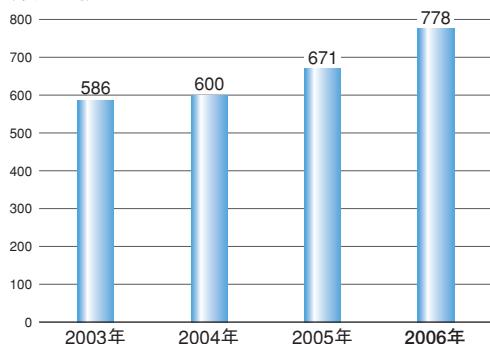
当期の業績

(※金額は単位未満を切り捨てております)

当期の売上高は、ガス販売量の増加などにより、前期に比べ15.9%増の778億円となりました。一方、原料価格の上昇などにより売上原価は増加しましたが、2004年7月に完成した「第二駿河幹線」の減価償却費が減少したことなどにより、経常利益は26.2%増の74億円、当期純利益は36.7%増の43億円となりました。

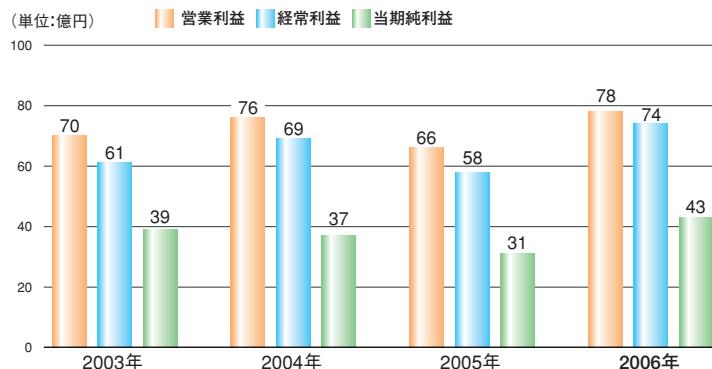
売上高

(単位:億円)



営業利益・経常利益・当期純利益

(単位:億円)

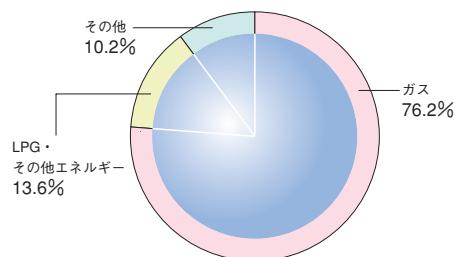


事業のセグメント

各セグメントに属する主要な事業内容は、以下のとおりです。

ガス	都市ガスの製造・供給・販売 LNGの販売
LPG・その他エネルギー	LPGの販売 オンサイト・エネルギーサービス
その他	ガス工事の施工 ガス機器の販売 不動産の賃貸 住宅設備機器の販売・施工 車両・事務機器等のリース

セグメント別売上高構成比



(注) 売上高の構成比は、外部顧客に対する売上高に基づいております。

各セグメントの業績

ガス

お客さま数は、グループ全体で当期中に3,288戸増加し、期末現在で340,908戸となりました。

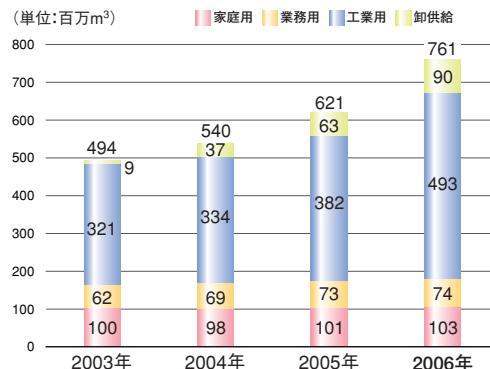
ガス販売量は、前期比139百万 m^3 (22.5%) 増加の761百万 m^3 となりました。用途別では、家庭用は、気温が全般的に低めに推移したことが寄与し、前期比2.0%増の103百万 m^3 となりました。工業用は、ボイラー燃料の都市ガスへの転換による新規需要の開拓や、既存大口需要家の販売量増加などにより、前期比29.0%増の493百万 m^3 となりました。業務用は、大型商業施設の新規稼働や空調需要の開拓などにより、前期比0.6%増の74百万 m^3 となりました。卸供給は、卸供給先が1社増加したことに加え、既存卸供給先での需要が増加したことにより、前期比41.9%増の90百万 m^3 となりました。

ガス売上高は、ガス販売量の増加や原料費調整制度による販売単価の上方調整などにより、前期比24.0%増の59,928百万円となりました。一方、費用面では原材料費が上昇し、売上を上回る売上原価の伸びとなったことから、営業利益は17.6%増の10,035百万円となりました。

LPG・その他エネルギー

LPG販売は順調に推移し、売上高は前期比12.1%増の10,919百万円となりましたが、原料価格の高騰などにより、営業利益は61.1%減の117百万円となりました。

ガス販売量



(注) 単位未満を切り捨てて表示しております。
ガス販売量は、標準熱量を1 m^3 当たり45MJ(メガジュール)換算で表示しております。

その他

その他の事業(ガス工事の施工、ガス機器販売など)は、前期に大型設備工事の受注があったことにより、売上高は前期比9.0%減の16,128百万円となりましたが、売上原価が相対的に抑えられたことにより、営業利益は19.2%増の679百万円となりました。

(注) 上記の業績数値には、セグメント間の取引を含んでおります。

連結財務諸表(要旨)

連結貸借対照表

	(単位：百万円)	
	当期 (2006年12月31日現在)	前期 (2005年12月31日現在)
(資産の部)		
固定資産	93,205	94,087
① 有形固定資産	76,027	77,540
製造設備	20,347	22,884
供給設備	39,448	41,925
業務設備	3,704	3,744
附帯事業設備	6,542	6,324
休止設備	—	34
建設仮勘定	5,985	2,627
無形固定資産	1,317	1,004
投資その他の資産	15,860	15,542
流動資産	20,983	16,924
現金及び預金	8,075	8,636
受取手形及び売掛金	6,830	5,444
② たな卸資産	3,852	1,102
その他	2,225	1,741
繰延資産	565	971
資産合計	114,755	111,983

point ① 袖師基地における第3号LNGタンク(2009年末完成予定)など、今後の天然ガス拡販に向けた設備投資を行う一方で、製造設備や供給設備の償却が進みました。

	(単位：百万円)	
	当期 (2006年12月31日現在)	前期 (2005年12月31日現在)
(負債の部)		
固定負債	42,821	46,482
③ 長期借入金	36,827	39,930
その他	5,993	6,551
流動負債	22,401	20,294
③ 1年以内に期限到来の固定負債	10,910	11,994
② 買掛金	4,687	1,881
③ 短期借入金	290	410
未払金	2,115	2,576
その他	4,398	3,431
引当金	428	631
負債合計	65,651	67,407
(純資産の部)		
株主資本	38,563	34,802
資本金	6,279	6,279
資本剰余金	4,098	4,098
利益剰余金	28,207	24,440
自己株式	△22	△16
評価・換算差額等	5,672	5,541
少数株主持分	4,868	4,231
純資産合計	49,104	44,576
負債純資産合計	114,755	111,983

(注) 当期から「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」を適用しております。前期については純資産の部の科目に合わせて表示しております。

point ② 当期は決算日直前にLNG船を受け入れたことにより増加しました。

point ③ 有利子負債が4,307百万円減少しました。

連結損益計算書

(単位:百万円)

	当期 (2006年1月1日～ 2006年12月31日)	前期 (2005年1月1日～ 2005年12月31日)
④ 売上高	77,808	67,144
⑤ 売上原価	48,134	38,158
売上総利益	29,673	28,985
⑥ 供給販売費及び一般管理費	21,788	22,362
営業利益	7,885	6,622
営業外収益	418	355
営業外費用	871	1,091
経常利益	7,432	5,887
特別利益	310	323
税金等調整前当期純利益	7,743	6,210
法人税、住民税及び事業税	2,770	2,360
法人税等調整額	△32	△85
少数株主利益	644	747
当期純利益	4,359	3,189

point ④ 工業用や卸売のガス販売の増加などにより増収となりました。

point ⑤ ガス販売増に加え、原料価格が上昇したことなどにより増加しました。

point ⑥ 「第二駿河幹線」の減価償却費などが減少しました。

連結株主資本等変動計算書

当期(2006年1月1日～2006年12月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算 差額等	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
前期末残高	6,279	4,098	24,440	△16	34,802	5,541	4,231	44,576
当期変動額								
剰余金の配当			△533		△533			△533
利益処分による役員賞与			△60		△60			△60
当期純利益			4,359		4,359			4,359
自己株式の取得				△6	△6			△6
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						130	637	768
当期変動額合計	—	—	3,766	△6	3,760	130	637	4,528
当期末残高	6,279	4,098	28,207	△22	38,563	5,672	4,868	49,104

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当期 (2006年1月1日～ 2006年12月31日)	前期 (2005年1月1日～ 2005年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	7,743	6,210
減価償却費	10,556	10,990
繰延資産の償却費	405	416
有形固定資産除却損	162	378
退職給付引当金の増減(△)額	△10	134
ガス熱量変更引当金の増減(△)額	△202	△208
受取利息及び受取配当金	△176	△131
支払利息	838	968
有形固定資産売却損益(△)	△7	△84
売上債権の増(△)減額	△1,309	△1,017
たな卸資産の増(△)減額	△2,745	1,768
仕入債務の増減(△)額	2,821	△1,583
未払(未収)消費税等の増減(△)額	△721	1,083
その他	431	734
小計	17,784	19,660
利息及び配当金の受取額	176	131
利息の支払額	△865	△999
法人税等の支払額	△2,069	△2,751
7 営業活動によるキャッシュ・フロー合計	15,025	16,040

point — **7** 減価償却前利益が増加した一方で、消費税の支払が増加しました。

(単位：百万円)

	当期 (2006年1月1日～ 2006年12月31日)	前期 (2005年1月1日～ 2005年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
8 有形・無形固定資産の取得による支出	△9,867	△8,525
有形・無形固定資産の売却による収入	51	155
投資有価証券の取得による支出	△5	△7
投資有価証券の売却等による収入	10	36
繰延資産の取得による支出	—	△469
その他	△913	△259
投資活動によるキャッシュ・フロー合計	△10,725	△9,069
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減(△)額	△120	△80
長期借入れによる収入	7,810	5,015
長期借入金の返済による支出	△11,997	△12,334
株式の発行による収入	—	4,185
配当金の支払額	△532	△495
少数株主への配当金の支払額	△5	△213
その他	△6	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー合計	△4,851	△3,929
現金及び現金同等物の増減(△)額	△551	3,042
現金及び現金同等物の期首残高	8,572	5,529
現金及び現金同等物の期末残高	8,021	8,572

point — **8** 今後の天然ガス拡販に向けて、「第3号LNGタンク」をはじめとする設備投資を行いました。

単体財務諸表(要旨)

貸借対照表

(単位:百万円)

	当期 (2006年12月31日現在)	前期 (2005年12月31日現在)
(資産の部)		
固定資産	69,916	68,406
有形固定資産	49,018	48,424
無形固定資産	1,072	764
投資その他の資産	19,826	19,218
流動資産	18,234	13,054
資産合計	88,151	81,460
(負債の部)		
固定負債	32,881	33,272
流動負債	21,004	16,235
負債合計	53,886	49,507
(純資産の部)		
株主資本	28,620	26,444
資本金	6,279	6,279
資本剰余金	4,098	4,098
利益剰余金	18,264	16,082
自己株式	△22	△16
評価・換算差額等	5,644	5,508
純資産合計	34,264	31,952
負債純資産合計	88,151	81,460

(注) 当期から「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」を適用しております。前期については純資産の部の科目に合わせて表示しております。

損益計算書

(単位:百万円)

	当期 (2006年1月1日～ 2006年12月31日)	前期 (2005年1月1日～ 2005年12月31日)
売上高	56,154	45,425
営業利益	4,115	2,394
経常利益	4,195	2,676
税引前当期純利益	4,210	2,693
当期純利益	2,753	1,901

株主資本等変動計算書

当期(2006年1月1日～2006年12月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算 差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
前期末残高	6,279	4,098	16,082	△16	26,444	5,508	31,952
当期変動額							
剰余金の配当			△533		△533		△533
利益処分による役員賞与			△38		△38		△38
当期純利益			2,753		2,753		2,753
自己株式の取得				△6	△6		△6
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						135	135
当期変動額合計	—	—	2,182	△6	2,175	135	2,311
当期末残高	6,279	4,098	18,264	△22	28,620	5,644	34,264

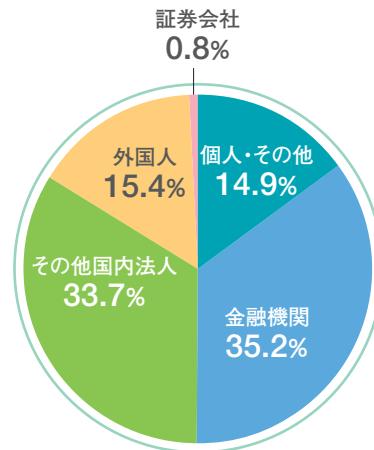
株式の状況

(2006年12月31日現在)

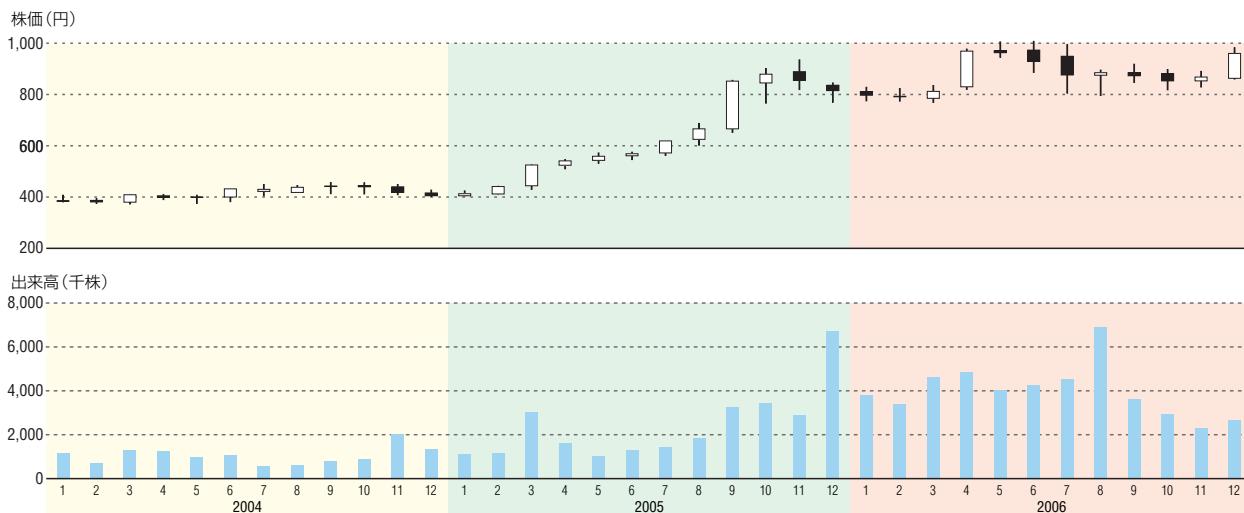
- ◆ 会社が発行する株式の総数 240,000,000株
- ◆ 発行済株式の総数 76,192,950株
- ◆ 株主数 2,516名
- ◆ 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,954	6.50
第一生命保険相互会社	4,687	6.15
三菱商事株式会社	3,203	4.20
東京電力株式会社	3,000	3.93
東京瓦斯株式会社	3,000	3.93
みずほ信託退職給付信託みずほコーポレート銀行口再信託受託者資産管理サービス信託	2,820	3.70
株式会社静岡銀行	2,682	3.52
鈴与株式会社	2,543	3.33
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,453	3.21
JFEエンジニアリング株式会社	1,836	2.40

◆ 所有者別株式分布状況



◆ 株価及び出来高の推移



会社概要

(2006年12月31日現在)

- ◆ **会社名** 静岡瓦斯株式会社
- ◆ **設立** 1910年(明治43年)4月16日
- ◆ **資本金** 6,279百万円
- ◆ **従業員数** 単体:654名 連結:1,151名

- ◆ **事業所**
 - 本社 静岡市駿河区八幡 1-5-38
 - 静岡支社 静岡市駿河区八幡 1-6-1
 - 富士支社 富士市荒田島町 10-52
 - 東部支社 沼津市西条町 17-6

◆ 取締役および監査役(2007年3月29日現在)

- | | | | |
|---------|--------|-------|--|
| 代表取締役会長 | 大石 司朗 | | |
| 代表取締役社長 | 岩崎 清悟 | | |
| 取締役 | 森田 和人 | 佐塚 一仁 | |
| | 宮坂 広志 | 戸野谷 宏 | |
| | 杉山 寛 | 松浦 康男 | |
| | 兼坂 光則 | | |
| 常勤監査役 | 上野 健二郎 | | |
| 監査役 | 加藤 明德 | 野末 寿一 | |
| | 稲葉 孝宏 | | |

◆ 執行役員(2007年3月29日現在)

- | | | | |
|--------|-------|-------|--|
| 取締役社長 | 岩崎 清悟 | | |
| 専務執行役員 | 森田 和人 | | |
| 常務執行役員 | 佐塚 一仁 | 宮坂 広志 | |
| | 杉山 寛 | 戸野谷 宏 | |
| | 前野 克己 | 遠藤 正和 | |
| 執行役員 | 伊久美 豊 | 早川 清人 | |
| | 上田 直弘 | | |

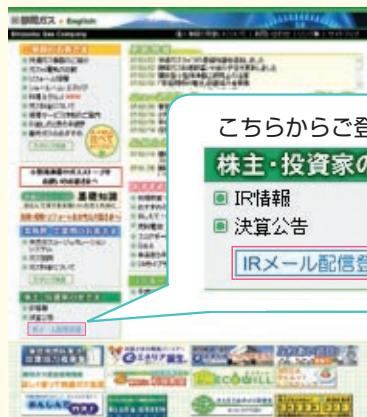
IR情報配信サービスのご案内

当社では、決算や販売量などのニュースリリースをeメールにより無料でご案内するIR情報配信サービスを行っています。

お申込は、当社ホームページ(下記参照)にアクセスした後、画面左下の「IRメール配信登録」をクリックして専用ページよりご登録ください。

静岡ガスホームページ

<http://www.shizuokagas.co.jp/>



株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月に開催します
配当金受領株主 確定日	期末配当金 毎年12月31日 中間配当金 毎年6月30日
株主名簿管理人	中央三井信託銀行株式会社 〒105-8574 東京都港区芝三丁目33番1号
事務取扱所	中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
取次所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店
公告の方法	電子公告により公告します。(http://www.shizuokagas.co.jp/) ※ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
1単元の株式数	500株
証券コード	9543

お知らせ

単元株式数変更のお知らせ

静岡ガスは、500株から。

静岡ガスは2006年12月1日から、単元株式数を
1,000株から500株に変更いたしました。

株式に関するお問い合わせ

住所変更、単元未満株式の買取請求、名義書換などの株式に関する手続きは中央三井信託銀行でお取り扱いしていますので、下記までお問い合わせください。

中央三井信託銀行 お問い合わせ先

■各種手続き用紙のご請求

フリーダイヤル 0120-87-2031

URL http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html

■その他のお問い合わせ

フリーダイヤル 0120-78-2031

静岡ガス株式会社

〒422-8688 静岡市駿河区八幡一丁目5番38号
TEL 054-284-4141 (代表)
<http://www.shizuokagas.co.jp/>